

事業所名	ココスマイル本部
------	----------

公表日 令和8年 4月 30日

利用  
児童数 115

回収数 68

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	68	0	0	0	・活動の内容にやって部屋が違うので、本人も気持ちの切り替えがし易いです。 ・プレイルームで体を動かしているから ・できれば回数を増やして欲しいが、スタッフの配置が足りず増やしてもらえないと感じています。	・環境につきまして、高評価をいただきありがとうございます。活動の目的に応じた療育スペースを用意し、お子さまにとっての活動がわかりやすいよう視覚的な工夫を行っております。 ・職員配置につきましては、基準人員に加えて専門職を配置し、充実した体制となっておりますが、1日の利用定員が定められている関係上、ご要望の利用頻度にお答えできない場合があります。定期利用枠以外で空き枠が生じた場合の追加利用も含めて、可能な限りご提案いたします。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	61	3	0	4	・情報が無いのでわからない ・音楽が出来る空間があればと思います。歌を歌う、楽器に触れる等 ・親が待機している場所にWi-Fiを設定して欲しい。	・音楽を取り入れた活動も実施できる場合がありますので、担当職員にご相談ください。 ・Wi-Fiにつきましては、通信速度の都合上、療育での使用に限っております。ご理解のほどお願いいたします。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	68	0	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。	68	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	62	5	0	1	・先生によります。 ・先生が、本人の特性に寄り添い、理解してくださって支援計画をいつもありがとうございます。 ・フィードバックの際に出来無かったことについて、どういう風にすれば本人が理解して、やろうと出来るのか、話がきちんと出来ました。これは子によって違うので、先生も対応大変だと思いますが、やり方を色んな方向からトライしてやってくれました。 ・臨機応変に前回の先生の引き継いで良いところは引き継いで担当の先生がこのやり方の方が良いかと思えば担当の先生のやり方を変えた方がなんでもかんでも前回のやり方をしていたら伸ばす為に先生の入替えをしたのに意味が無いのと伸びないと思います。 出来れば子供も保護者も合った先生とは長く見て欲しいです。	・適切な支援の提供につきまして、高評価をいただきありがとうございます。担当職員が中心となり、職員同士で意見交換を行いながら、お子様のニーズや特性に応じた適切な療育内容を考え、実施しています。 ・療育内容につきましては、担当職員だけでなく、定期的なカンファレンスを通じて全職員で意見交換を行っています。担当職員では思いつかない提案が他の職員から出ることもあり、支援内容の充実に役立っています。療育内容につきましては、ご遠慮なくご相談いただけますと幸いです。
	6 事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	61	1	0	6	・手先が不器用だとずっと思い込んでいたのですが、プログラムをする上で意外に細かな作業がより集中して出来ていたため、ビックしました。 ・子の状況に応じて、必要な活動をいつも考えてくださり、大変ありがたいです。 ・いつも新しい提案も戴いており、継続して戴きたい事はして下さり、柔軟に対応してくださり感謝しております。ありがとうございます。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画（※3）が作成されていると思いますか。	65	3	0	0		
	8 個別支援計画には、児童発達支援ガイドライン・放課後等デイサービスガイドラインの「児童発達支援・放課後等デイサービスの提供すべき支援」「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	64	1	0	3		
	9 個別支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	66	2	0	0		
	10 事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	60	6	0	2		
保護 者 へ の 説 明 等	11 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	64	2	0	2	・毎回フィードバックして下さるので、本人の理解度も保護者は、把握しやすく、有り難いです。 ・どしても戴いていて助かっています。 ・否定的な話をされないのが、助かります。アドバースも子に添ったレベルなので、家でもトライしやすいです。 ・参加するかどうかも親が決めるので助かっています。 ・今年度毎月開催していただいた保護者向けの座談会がよかったです。先生から専門的なお話をわかりやすく伺え、他の保護者の方々のお話も伺え、大変勉強になりました。 ・なかなか参加は出来てないのですが… ・部屋で壁に椅子をもたれ掛けさせて、グラグラとする姿勢があり、やる気にも歯止めが掛かる時がありました。先生にそうならないようお願いすると、直ぐに壁との間に入ったりと対応頂きました。	・保護者への説明等につきまして、高評価をいただきありがとうございます。 ・毎月開催している「ココスマイル座談会」では、職員からのミニレクチャーに加え、保護者様同士での意見交換の場を設けています。次年度もより充実した内容で開催する予定です。 ・毎回の療育でのフィードバックに加えて、療育枠外での相談（家族支援）も行ってあります。お子様の様子でご心配な点やお困り事がございましたら、引き続きご相談くださいますと幸いです。
	12 「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	65	2	0	1		
	13 事業所では、家族等も参加できる研修会や情報提供の機会、座談会等が行われていますか。	61	3	1	3		
	14 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	65	2	0	1		
	15 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	62	5	0	1		
	16 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	64	3	1	0		
	17 保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。	49	5	2	12		
	18 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	62	2	0	4		
	19 こどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	65	3	0	0		

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果（放課後等デイサービス）

事業所名	ココスマイル本部
------	----------

公表日 令和8年 4月 30日

利用  
児童数 115

回収数 68

	20	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	61	1	0	6		
	21	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	63	0	0	5		
非常時等の対応	22	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	47	3	1	17	<p>・何回かに一度地震や災害の訓練をして頂きたい誰に助けを求めれば良いか煙がでたらどう逃げるか等</p> <p>・非常時の対応等につきまして、高評価をいただきありがとうございます。年に2回、箕面市消防本部の指導の下、地震・火災を想定した避難訓練、消火訓練、通報訓練を行っています。ご利用者様にもご協力をいただいておりますが、定期利用枠でのご利用のため、ご参加いただけるかたは限られます。全利用者に情報が届くよう、施設掲示板、ホームページにて引き続き情報発信をして参ります。</p> <p>・避難の仕方や災害時の対応につきましては、個別に療育の内容として取り入れることも可能ですので、ご要望がありましたら担当職員までご相談くださいますようお願いいたします。</p> <p>・幸い重大な怪けにつながる事故等は発生しておりません。引き続き、定期的な安全管理研修を実施し、普段から設備等の安全点検を実施していきます。</p>	
	23	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	33	2	5	28		
	24	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	58	1	0	9		
	25	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	38	3	1	26		
	26	子どもは安心感をもって通所していますか。	66	1	0	1		
満足度	27	子どもは通所を楽しみにしていますか。	61	1	0	6	<p>・今の先生になってから楽しい様です。 ・〇〇に行くよー!と声掛けすると、きちんと上履きケースを手に取り、玄関で上着を羽織り、靴を履いて待っています。 ・毎年担当の先生が変わり、信頼関係を作る期間が長く、変化が苦手な子供にとってどうなんだろうと思っています。 ・子供は先生のことが大好きですし、いつも相談に対して適切に対応策を出して頂き、大変感謝しております。 ・いつも丁寧に優しい療育をしていただいていると感じています。ありがとうございます。</p> <p>・満足度につきまして、高評価をいただきありがとうございます。 ・担当引継ぎにつきましては、引継ぎ期間を設け、旧担当から新担当に徐々に移行するようにしています。引継ぎシートを使って書面でも引き継いでおります。対人関係構築が課題のお子様も多数ご利用のため、配慮した上での学習の機会と受け止めていただけますと幸いです。</p>	
	28	事業所の支援に満足していますか。	64	4	0	0		

公表

## 事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名		ココスマイル本部		公表日		令和8年4月30日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	<p>・毎日の清掃に加え、週1回の重点的な環境整備の時間を設け、整理整頓と美化に努めている。</p> <p>・構造化をし、ひと目でわかりやすい場の設定を心がけている。</p>	<p>・施設の老朽化はあるが、利用者に安心して安全にお過ごしいただけるよう、清掃や整理整頓に今後も取り組み、清潔感を保つようとする。</p>	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。	7	0			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	<p>・PDCAサイクルに則り、毎日の打ち合わせ、週1回/月1回の定期会議や臨時会議を行なっている。</p> <p>・必要に応じて保護者アンケートを実施し、いただいたご意見やご感想を反映させている。</p> <p>・保護者からいただいたご意見等は、すぐに職員間で共有するようにしている。</p> <p>・大阪母子保健センター平山哲医師からの外部評価をいただいている。</p> <p>・職員の意識や知識、技術向上のため、研修や事例検討を年間計画に位置付けて実施している。シフト制により現地参加できない場合にも、後日試聴して報告する仕組みを作り、全職員が研修を受ける機会を確保している。聴講だけでなく、職員同士のディスカッションを多く設けている。</p>	<p>・会議は効率的に進めていく。</p> <p>・継続して大阪母子保健センター平山哲医師からの外部評価を依頼していく。</p> <p>・研修内容はタイムリーなテーマや最新知見を取り入れ、支援の質の向上を図っていく。</p> <p>・全職員の理解をより深めるための事例検討の場を作っていく。</p>	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	<p>・支援プログラムを作成し、公表している。</p> <p>・フォーマルなアセスメントばかりではなく、インフォーマルなアセスメントを行っている。</p> <p>・個別支援会議を頻回に行い、職員間で意見交換をして計画に反映させている。更新時期を意識して、遅れの無いように取り組んでいる。</p> <p>・ガイドラインに基づき、個別支援計画は具体的な行動目標を立て、評価が明確になるように心がけている。</p>	<p>・心理士部会やST・OT（言語療法士・作業療法士）部会でフォーマルなアセスメントについてのアップデートをしていく。</p> <p>・全職員でインフォーマルなアセスメントについてのアップデートをしていく。</p> <p>・個別支援計画更新期日を意識し、計画的に進めていくことができるよう、スケジュール確認を全体で行なっていく。</p>	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	7	0			
	13	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0			
	14	個別支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0			
	16	個別支援計画には、児童発達支援ガイドライン・放課後等デイサービスガイドラインの「児童発達支援・放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0			

公表

## 事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名	ココスマイル本部		公表日 令和8年4月30日			
適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで相談しながら行っているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動プログラムは個別、小集団とも、職員間で意見交換をして作成している。</li> <li>・小集団活動は個別担当の職員が利用者情報を提供し、活動プログラムについては意見交換しながら広範囲から検討し、決定している。</li> <li>・毎日の朝礼と終礼を時間を決めて行い、確認や振り返りをし、相談することができている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が個別に活用している教材や活動プログラムをお互いに知り合う機会を設けている。</li> <li>・当事業所でカバーできる内容を精査し、全職員で検討しながら進めていく。</li> </ul>
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0		
	19	支援開始前には職員間で打合せや情報共有を行い、チームで連携して支援を行っているか。	7	0		
	20	支援終了後には、職員間で支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0		
	21	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		
	22	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
	23	放課後等デイサービスでは、ガイドラインの「4つの基本活動」（日常生活の充実と自立支援のための活動・多様な遊びや体験活動・地域交流の活動・こどもが主体的に参画できる活動）を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7	0		
	24	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0		
関係機関や保護者との連携	25	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通して保護者座談会を行っている。</li> <li>・他機関との会議には、管理者と療育担当者が参加している。</li> <li>・他機関との連携については、必要性に応じて実施している。</li> <li>・個別の支援計画等は相談支援事業所と共有し、必要に応じて園や学校とも共有している。</li> <li>・全職員に対して他機関における研修機会等の情報発信をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性に応じて実施する。</li> <li>・保護者に福祉制度や社会資源についての情報発信をしながら、他資源と協働してニーズを満たすように考えていくとともに、全職員が同じ意識を持つようにしていく。</li> </ul>
	26	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0		
	27	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、学校等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1		
	28	必要に応じて、就学時の移行の際には小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1		
	29	必要に応じて、就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1		
	30	必要に応じて、学校を卒業し放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1		
	31	地域の児童発達支援センターなどとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	1		
	32	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0		
33	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0			

公表

## 事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名	ココスマイル本部		公表日 令和8年4月30日			
保護者への説明等	34	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約時や変更時には、丁寧な説明を心がけている。</li> <li>・個別支援計画作成手順に則って適正に保護者や利用者の意見を考慮し、同意を得ている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者や利用者から運営規定、支援プログラム、利用者負担、個別支援計画等について質問があった際には、担当止まりにせず全職員で共有し、対応していく。</li> </ul>
	35	個別支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	36	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか。	7	0		
	37	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回保護者が療育を観察し、担当からもフィードバックをしている。</li> <li>・保護者からの相談については別途相談日を設けて対応している。</li> <li>・毎月保護者座談会を開催し、保護者同士での意見交換、交流の場を設けている。</li> <li>・子育て通信や、ST・OT通信を毎月発行し、配布するとともに掲示している。</li> <li>・ホームページでイベントや小集団療育についての情報発信をしている。</li> <li>・個人情報の取り扱いについては十分留意している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も保護者や利用者からの相談を担当止まりにせず、事業所全体で受け止めていく。</li> <li>・引き続き、保護者座談会を年間計画に位置づけ、毎月開催していく。</li> <li>・ホームページや紙媒体、LINEなどを活用して、さらに情報発信をしていく。</li> </ul>
	38	保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	0		
	39	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	40	定期的に通信等を発行することや、HP等を活用することにより、活動概要等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0		
	41	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
42	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0			
非常時等の対応	43	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	44	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	45	事前に、服薬やてんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0		
	46	必要に応じて、食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1		
	47	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	48	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	49	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		
	50	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
51	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	7	0			

公表

## 事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	個別療育センター ココスマイル本部		
○保護者評価実施期間	2026年2月21日		～ 2026年3月12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	115	(回答者数) 68
○従業者評価実施期間	2026年2月21日		～ 2026年3月12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月30日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	構造化された過ごしやすい療育の環境となっています。	毎回の療育ごとにお子様の特性に応じた療育室内の構造を設定しています。	お子様の特性に応じて、椅子・机の配置や視覚スケジュール教材等の見直しを行い、より過ごしやすい環境づくりに努めていきます。
2	心理・リハビリテーション等の専門職を配置し、充実した職員体制となっています。	専門性を活かし、心理検査等のアセスメントに基づいた療育を実施しています。	より専門性を高めるための研修や、事例検討等を行っていきます。
3	お子様への支援のみならず、保護者様への支援が充実しています。	保護者様に対し、タブレットでの視聴など療育への参加の機会を提供した上で、療育の最後の時間に毎回フィードバックを行っています。また、毎月保護者座談会を開催し、保護者同士での交流の場を設けています。	療育の時間外での相談援助（家族支援）の充実や、保護者座談会の内容の充実を図り、いっそう家族支援を充実させていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	避難訓練を実施していますが、参加されていないご利用者様へは情報が行き届いていません。	契約時の説明に加え、掲示板への張り出しやホームページへの掲載により避難訓練の様子や災害時の対応の周知を行っていますが、ご利用者様全員の目には止まりにくいと思われます。	LINE等のツールを活用し、ご利用者様全員に避難訓練の情報が伝わるよう工夫をしていきます。また、ご要望があれば個別に災害時の対応について療育の中で取り扱います。
2	担当職員が変更になった場合に、環境変化に敏感なお子様不安を感じる場合があります。	お子様の学年が変わるタイミングでご利用者様の利用希望枠が変更となる場合や、新規利用者との利用枠調整が必要な場合に、担当職員が変更となることが多いです。	担当引継ぎの際には、十分な引継ぎ期間を設け、引き継ぎ書等の書面やビデオ録画を活用しながら、スムーズな移行に努めていきます。また、全職員でお子様の情報を共有し、担当職員以外もお子様の特性を知った上で、支援の充実化を図ります。
3			